

患者や家族が満足できる透析医療とはどのようなものだろうか？

医療者と患者の間には少なからずギャップが存在するようだ。

疾病の予防・治療のために科学的な医療行為を行い、患者の予後向上を目指すことは医療者にとって当たり前の行為であり、すべて患者のためである。これを医療者は適切な行為と考えるが、しかしすべての患者がその内容に納得しているとは限らず、満足感をもてない方もいる。一方、患者の希望と都合に沿った医療を進めれば患者は大いに満足するかもしれない。しかし、患者の意向を過度に重視する結果、患者に大きな不利益をもたらすこともあろう。これは医療者の責任放棄、患者に対する背信行為といえる。これらは医療におけるパターナリズム（父権主義）とインフォームド・アプローチ（消費者主義）が抱える課題といえる。

このような背景のなかで、shared-decision making の考え方が大きく取り上げられるようになった（<http://www.ckdsdm.jp/sdm/sdm.html>）。双方向性の意思相通の構図のなかで、協働で方針を決定していくものだ。医療界を離れて広く社会を見てみれば、マーケティング領域における顧客満足という考えにも共通した点があり、最近の話題として、企業と消費者という対立する関係から、「家族」「仲間」という新たな関係性の構築が注目されているのだという（袖川論文を参照）。医療とマーケティングというまったく異質の分野だが、人が満足するという深層は共通しているようで興味深い。平成30年度の診療報酬改定では、腹膜透析や腎移植の拡大を介して、腎不全医療の多様化を推進する内容になっている。末期腎不全に苦しむ患者や家族の満足感の向上に繋がることを期待したい。

（中山昌明）

2018年(Vol. 34)特集のご案内

- No.① 透析患者のがん対策〔特大号〕
- No.② 透析患者のリハビリテーション
— 訓練と支援
- No.③ キュアとケアをつなぐナースング
スキル
- No.④ 求められる透析液清浄化—改訂された
透析液水質基準の意味するところ

- No.⑤ 透析患者の体力と認知力を考える
— 患者と家族が満足するキュアとケア
- No. 6 透析室の感染症へどう対応するか
〔特大号〕
- No. 7 〔増刊号〕透析医療におけるキュア&
ケアガイドブック
- No. 8 透析患者の余暇とレクリエーション

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.34 No.5

© 2018年 5月 10日発行
定価：（本体 2,400 円＋税）

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.co.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541